

本書の特色と使い方

本書は管理栄養士国家試験の合格を目指し、全5巻で2,000題以上を解く「実戦トレーニング2000題PLUS」シリーズの1冊です。基本問題で重要事項を確認したら、過去問題と創作問題でトレーニング。出題のポイントを確実にマスターできるのが最大の特徴です。

2000題PLUSが開く管理栄養士への扉

出題基準に基づいた下記5冊に、2,000題以上の厳選問題を収録しました。

- ① 社会・環境と健康/公衆栄養学
- ② 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち/基礎栄養学
- ③ 食べ物と健康/給食経営管理論
- ④ 応用栄養学/栄養教育論
- ⑤ 臨床栄養学/応用力試験

合格へ導く活用メニュー

本書で学習を始める時期に合わせて、活用方法を選んでください。

◆準備万全コース◆じっくり取り組む人にオススメ

①「基本問題」で国試を押さえる

繰り返し出題されている国試過去問題や重要事項を組み入れた創作問題。ていねいな **解説** と、必須の知識をまとめた **Point** で、しっかり基礎を固めます。

②多彩な類題でパターンをつかむ

基本問題に続いて、練習問題が配されています。前から順番に進めると、同じテーマでありながら角度の違う問題をまとめて解くことができます。

③繰り返し学習して、知識を定着

知識の定着には繰り返しが一番。間違えた問題をマークしておけば、弱点を優先的にチェックできます。繰り返すたびにマークの色を変えれば、不得意問題が一目瞭然です。同時にキーワードを活用して理解が不十分なテーマから優先的に復習しましょう。

④最新データ、法規をチェック

別冊の「管理栄養士国家試験データ・資料問題集」で最新のデータ、法規を確認しておきましょう。

◆国試直前コース◆1~2か月前から始める人にオススメ

①「基本問題」で全科目の基礎を学ぶ

解説 と **Point** をしっかり読んで基礎を固めます。

②重要問題を優先的に解く

スピーディに全科目を網羅するため、重要問題から始めましょう。

③苦手優先で効率よく得点アップ

間違えた重要問題をマークし、苦手なテーマから優先的に残りの問題を解いていきます。

出題のポイント

出題の傾向と対策

平成19年までに20問の出題があった。検査項目全般についての出題が15問と多いが、特定の検査では、腎機能、肝機能、血清たんぱく質についての出題がみられる。臨床検査データは診断と治療の評価に不可欠のものであり、必ず覚えておくべき重要な分野である。

基本問題2

各種検査の評価についての記述である。正しいのはどれか。

- (1) 血清アルブミンは短期間の栄養状態の変化を反映している。
- (2) RTP (rapid turnover protein) で最も半減期の短いのはトランスフェリンである。
- (3) アミノ酸比が2.0以下となるとたんぱく質の欠乏状態と判定する。
- (4) 血中尿素窒素の異常な上昇がなく、窒素出納が正ならばたんぱくは増加している。
- (5) クレアチニン身長係数は体脂肪の指標として用いられる。

基本問題で基礎固め

解いた回数や間違えた問題をマーク

出題 創作問題

解説 (1) 血清アルブミンはRTPとは違って、3週間程度の比較的長期間の栄養状態の変化を反映している。

- (2) RTP (rapid turnover protein) では半減期が短いのはレチノール結合たんぱく (0.4~0.7日) で、トランスフェリン (7~10日) より長い。
- (3) アミノ酸比が2.0以上となるとたんぱく質の欠乏状態と判定する。
- (4) 窒素出納とは摂取窒素
- (5) クレアチニン身長係数

問題のテーマ

□□□ 【血清たんぱく質】

Check! 重要

問題6 血清たんぱく質濃度に関する記述である。正しいものの

- a クワシオルコルでは、血清たんぱく質濃度は増加する。
- b ネフローゼ症候群では、血清アルブミン濃度は上昇する。
- c 肝硬変では、血清グロブリン濃度は増加する。

低アルブミン血症は、浮腫の原因となる。

(1) aとb (2) aとc (3) aとd (4) bとc

重要問題

出題 平成19年国試

解説 a クワシオルコルではたんぱく質の摂取不足等により肝臓が生じるとともに、血清アルブミンの低下や浮腫が起こる。

- b ネフローゼ症候群は大量のたんぱく尿 (1日3.5g以上) によりたんぱく濃度6.0g/dL以下またはアルブミン濃度3.0g/dL以下となる。
- c 肝硬変では血清アルブミン濃度は低下し、血清グロブリン濃度は増加する。
- d 低アルブミン血症は血漿膠質浸透圧を低下させ浮腫を生じる。

解答

Point

〈たんぱく代謝の評価〉

- ① アルブミン (血液検査) 半減期が18~23日と長い。
- ② RTP (rapid turnover protein) 半減期が短く、栄養治療に効果的。
- ③ 窒素バランス (血液検査) 血中尿素窒素 (BUN) の値が正常範囲内である。
- ④ 3-メチルヒスチジン (3-MH) は筋線維の構成成分である。
- ⑤ クレアチニン身長係数 (尿中クレアチニン) は筋肉量の指標である。

重要事項のまとめ

出題年

色文字は重要語

Key Words

栄養アセスメント, 血液生化学検査, 機能検査, 肝機能検査, 膵機能検査, 肺機能検査, 腎機能検査

キーワードはすべて押さえる

別冊の「管理栄養士国家試験データ・資料問題集」で、さらに合格を確実にしてください。

1

臨床栄養学の基礎

出題の傾向と対策

平成18年までに出題がみられたのは、15年度の入院時食事療養制度についての1問だけであった。しかし、19年には、クリニカルパス、栄養食事指導料の2問が出題された。

基本問題 1

臨床栄養に関連した記述である。正しいものの組合せはどれか。

- a 栄養サポートチーム (NST) — 4~10名程度の栄養士から成る栄養管理チーム
- b 栄養ケアプラン — 栄養スクリーニング, 栄養アセスメント結果から作成
- c インフォームド・コンセント — 医師が病状, 検査法, 治療法について説明し, 患者が選択する
- d ノーマリゼーション — 「再び機能を身につける」という意味

(1) aとb (2) aとc (3) aとd (4) bとc (5) cとd

出題 創作問題

- 解説**
- a NST (nutrition support team) の構成メンバーは、医師、看護師、管理栄養士、栄養士、薬剤師、事務員など4~10名程度である。
 - c 患者の知る権利と医師の説明義務についての法的概念である。
 - d ノーマリゼーションとは、障害者が健常者とともに普通に暮らせるような地域社会を作るという概念である。「再び機能を身につける」のはリハビリテーション。

解答 (4)

Point

〈栄養管理システムの手順〉

- ① 栄養スクリーニング
- ② 栄養アセスメント
- ③ 栄養ケアプラン
 - ・適正なエネルギーおよび栄養素の補給量, 補給方法などを具体的に作成する
- ④ 実施
- ⑤ 定期的モニタリング
- ⑥ 評価

Key Words

栄養サポートチーム, 栄養スクリーニング, 栄養アセスメント, 栄養ケアプラン, インフォームド・コンセント, ノーマリゼーション, 入院時食事療養



[入院時食事療養]

Check!

問題 1 入院時食事療養における特別食加算が適用されるものの記述である。正しいのはどれか。

- (1) 高血圧症に対する減塩食
- (2) 高度肥満症食（肥満度が+70%以上又はBMIが35以上）
- (3) 経管栄養のための濃厚流動食
- (4) 胃潰瘍に対する流動食
- (5) 特別な場合の検査食としての糖尿病食

出題 ▶ 平成15年度国試改変

- 解説** ▶ (1) 平成10年4月から高血圧食の加算は廃止された。
 (2) 平成18年4月から本加算は廃止された（それまでは1kcal/1g程度の熱量のものは特別食加算の対象であった）。
 (3) 平成18年4月から本加算は廃止された（それまでは1kcal/1g程度の熱量のものは特別食加算の対象であった）。
 (4) 胃潰瘍食は特別食加算の対象であるが、流動食は除かれている。
 (5) 特別な場合の検査食は潜血食であり、糖尿病はない。



[栄養食事指導料]

Check!



問題 2 診療報酬における栄養食事指導料の算定に関する記述である。正しいのはどれか。

- (1) 集団指導の1回の人数は、20人以上である。
- (2) 集団指導の1回の時間は、30分以内である。
- (3) 慢性閉塞性肺疾患（COPD）は、算定対象疾患でない。
- (4) 入院栄養食事指導料は、1回につき80点である。
- (5) 在宅患者訪問栄養食事指導に要した交通費も算定対象である。

出題 ▶ 平成19年国試

- 解説** ▶ (1) 1回の集団指導における患者の人数は15人以下を標準とする。
 (2) 集団指導における1回の指導時間は40分を超えるものとする。
 (3) **栄養食事指導料**の算定対象は厚生労働大臣が定める特別食を医師が必要と認めた場合であり、**特別食**には腎臓食、肝臓食、糖尿食、胃潰瘍食、貧血食、膵臓食、高脂血症食、痛風食、フェニールケトン尿食、治療乳、無菌食、潜血食などがあるが、慢性閉塞性肺疾患は対象でない。
 (4) 入院栄養食事指導料は130点で、外来栄養食事指導料と同額である。80点は集団栄養食事指導料である。
 (5) 在宅患者の訪問指導を行った場合には看護、リハビリ、栄養ともに交通費は患家の自己負担となり、保険給付の対象外である。



[クリニカルパス]

Check!

問題 3 クリニカルパスに関する記述である。正しいのはどれか。

- (1) 目的は、ターミナルケアである。
- (2) 作成に当たり、治療の標準化が必要である。
- (3) インフォームドコンセントには、役立たない。
- (4) チーム医療を行っている場合は、不用である。
- (5) 時間軸を含まないクリニカルパスがある。

出題 ▶ 平成19年国試

- 解説** ▶ (1) 適正な医療を効率よく行うのが目的である。

解答

■問題1 (2) ■問題2 (3) ■問題3 (2)